

## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 メタウォーター株式会社

コード番号 9551 URL <http://www.metawater.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木田 友康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 中村 靖

TEL 03-6853-7317

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,469	△7.2	△5,662	—	△5,627	—	△3,860	—
27年3月期第2四半期	23,142	—	△3,883	—	△3,819	—	△2,455	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △3,667百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △2,334百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	△148.91	—
27年3月期第2四半期	△163.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	91,496	43,352	47.3
27年3月期	114,257	47,773	41.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 43,243百万円 27年3月期 47,674百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	2,900.00	—	29.00	—
28年3月期	—	29.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成27年3月期の年間配当金は58円00銭であります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	111,000	3.8	8,400	2.2	8,100	△1.4	5,200	4.2
								200.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	25,923,500 株	27年3月期	25,923,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	25,923,500 株	27年3月期2Q	15,000,000 株

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府の経済政策や金融政策により、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。また、世界の経済状況は、中国を始めとする新興国経済の成長に鈍化がみられるものの、米国や欧州等を中心に緩やかな景気回復が続いております。

当社グループを取り巻く国内事業環境においては、継続的な公共投資の抑制と、人手不足に起因する人件費の高騰等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、平成27年5月29日に「中期経営計画（平成28年3月期～平成30年3月期）」を策定し、国内外の事業基盤や新たなソリューションの開発を強化するとともに、国内の地域企業やパートナー企業との連携による事業領域の拡大を進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、サービスエンジニアリング事業が前年同期に比べ売上・営業損益ともに好調に推移したものの、プラントエンジニアリング事業が前年同期に比べ低調に推移したことにより、全体としては前年同期を下回りました。

第2四半期連結累計期間における売上高は214億69百万円（前年同期比7.2%減）、営業損失は56億62百万円（前年同期は営業損失38億83百万円）、経常損失は56億27百万円（前年同期は経常損失38億19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は38億60百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24億55百万円）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、官公庁や地方自治体向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、当第2四半期連結累計期間の業績は低い水準になる傾向がありますが、概ね予想通りに推移しております。また、受注高は565億33百万円となり、順調に積み上がっております。

セグメント別業績は以下のとおりです。

#### (プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業は、EPC(注1)案件の受注及び売上が例年以上に下期へ偏重していることにより、受注高は326億11百万円、売上高は132億9百万円（前年同期比17.2%減）、営業損失は38億67百万円（前年同期は営業損失20億21百万円）となりました。

#### (サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業は、継続的なPPP(注2)案件の受注及び売上により、受注高は239億21百万円、売上高は82億59百万円（前年同期比3.6%増）、営業損失は17億95百万円（前年同期は営業損失18億61百万円）となりました。

- (注) 1. EPC(Engineering, Procurement and Construction)：設計、調達、建設を含む建設工事  
2. PPP(Public Private Partnership)：官民パートナーシップ

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ227億60百万円減少し、914億96百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、仕掛品が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ225億16百万円減少し、824億7百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少し、90億89百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ182億50百万円減少し、301億25百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ89百万円減少し、180億18百万円となりました。

純資産は、季節的要因による親会社株式に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ44億21百万円減少し、433億52百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は346億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ、50億25百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失56億27百万円、法人税等の支払による支出28億89百万円、仕入債務の減少による支出241億18百万円のうち、売上債権の減少による収入361億54百万円などにより、営業活動に伴う資金の増加は、65億24百万円となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出4億46百万円や無形固定資産の取得による支出1億99百万円により、投資活動に伴う資金の減少は7億29百万円となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払による支出7億51百万円やPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの借換及び新規借入により、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの借入れによる収入3億75百万円がPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出4億3百万円を下回り、財務活動に伴う資金の減少は7億81百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績につきましては、平成27年4月24日発表の予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(会計方針の変更) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,534	24,556
受取手形及び売掛金	66,549	30,402
有価証券	11,000	11,000
仕掛品	2,753	8,861
貯蔵品	2,394	2,232
その他	2,691	5,355
流動資産合計	104,923	82,407
固定資産		
有形固定資産	1,706	1,635
無形固定資産	2,139	1,905
投資その他の資産	5,489	5,548
固定資産合計	9,334	9,089
資産合計	114,257	91,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	31,664	8,920
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	801	820
未払法人税等	2,994	150
前受金	5,130	15,236
完成工事補償引当金	875	662
受注工事損失引当金	68	97
その他	6,840	4,237
流動負債合計	48,376	30,125
固定負債		
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	13,663	13,616
退職給付に係る負債	4,444	4,402
固定負債合計	18,108	18,018
負債合計	66,484	48,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	23,273	18,661
株主資本合計	50,300	45,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	28
為替換算調整勘定	11	24
退職給付に係る調整累計額	△2,670	△2,498
その他の包括利益累計額合計	△2,626	△2,445
非支配株主持分	98	108
純資産合計	47,773	43,352
負債純資産合計	114,257	91,496



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,142	21,469
売上原価	21,145	20,693
売上総利益	1,996	775
販売費及び一般管理費	5,880	6,438
営業損失(△)	△3,883	△5,662
営業外収益		
受取利息	129	128
受取配当金	24	32
為替差益	54	26
その他	23	8
営業外収益合計	231	195
営業外費用		
支払利息	99	87
固定資産処分損	46	71
その他	21	0
営業外費用合計	167	160
経常損失(△)	△3,819	△5,627
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,819	△5,627
法人税等	△1,377	△1,778
四半期純損失(△)	△2,442	△3,848
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	11
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,455	△3,860

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,442	△3,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△5
為替換算調整勘定	△42	13
退職給付に係る調整額	137	172
その他の包括利益合計	108	181
四半期包括利益	△2,334	△3,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,347	△3,679
非支配株主に係る四半期包括利益	13	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,819	△5,627
減価償却費	527	505
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	△106
退職給付に係る資産の増減額(△は減少)	△37	△6
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△148	△212
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△2	28
受取利息及び受取配当金	△154	△160
支払利息	99	87
為替差損益(△は益)	11	2
固定資産処分損	46	71
売上債権の増減額(△は増加)	37,904	36,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,227	△5,944
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,238	△24,118
前受金の増減額(△は減少)	10,337	10,105
その他	△1,498	△1,439
小計	14,847	9,341
利息及び配当金の受取額	154	160
利息の支払額	△87	△87
法人税等の支払額	△3,502	△2,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,411	6,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	3
有形固定資産の取得による支出	△385	△446
無形固定資産の取得による支出	△592	△199
投資有価証券の取得による支出	△81	△87
貸付けによる支出	—	△15
貸付金の回収による収入	15	16
その他	△88	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130	△729
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△4,500	—
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの借入れによる収入	13,479	375
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出	△9,500	△403
配当金の支払額	△564	△751
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,087	△781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,163	5,025
現金及び現金同等物の期首残高	3,097	29,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,260	34,630

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,963	7,178	23,142	—	23,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,963	7,178	23,142	—	23,142
セグメント損失(△)	△2,021	△1,861	△3,883	—	△3,883

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,209	8,259	21,469	—	21,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,209	8,259	21,469	—	21,469
セグメント損失(△)	△3,867	△1,795	△5,662	—	△5,662

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、平成27年10月28日開催の取締役会において、当社の米国子会社であるMETAWATER USA, INC. (以下、「MUSA」という。)を通じて、米国の非上場株式会社であるAqua-Aerobic Systems, Inc. (以下、「AAS社」という。)を買収する手続きを開始することについて決議し、同日付で、当事者間で合併契約 (Agreement and Plan of Merger) を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称 Aqua-Aerobic Systems, Inc.

事業の内容 上下水道の水処理に関するエンジニアリング事業及びサービス事業

(2) 企業結合を行う主な理由

AAS社買収により、米国市場での販売網及びサービス網の拡充を実現するとともに、北米での事業基盤強化を図るため。

(3) 企業結合日

平成28年1月初旬(予定)

(4) 企業結合の法的形式

米国の企業再編法制に基づく逆三角合併による買収

(5) 結合後企業の名称

Aqua-Aerobic Systems, Inc.

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるMUSAが、現金を対価としてAAS社の全株式を取得する予定であるためであります。

2. 被取得企業の取得原価

87百万米ドル(概算)

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では、確定しておりません。